

# 熊谷市史編さん委員会・専門部会 報告

(平成三十一年一月～令和元年一二月)

## Ⅰ 熊谷市史編さん委員会報告

平成三〇年度熊谷市史編さん委員会

日時 平成三十一年三月二十七日(水) 午後一時三〇分開会

場所 熊谷市立熊谷図書館 第二講座室

### 【概要】

#### ○議事

(報告事項)

次に掲げる事項について、報告を行った。

①平成二十九年度第二回熊谷市史編さん委員会について

平成三〇年三月二十八日(水)に開催した前回の当委

員会の会議の概要について、事務局から報告した。

②平成三〇年度熊谷市史編集会議について

平成三〇年八月二〇日(月)に開催した熊谷市史編集会議の概要について、事務局から報告した。

③各専門部会の活動状況について

本年度(平成三〇年度。以下、本項において同じ。)、における各専門部会の調査等の活動の状況について、部会長が当委員会の委員で、かつ、今回の会議に出席している部会(考古、古代、近世)については当該部会長から、それ以外の部会(中世、近代、現代、仏像・仏画、中世石造物担当)については事務局から、それぞれ報告した。

④事務局の活動について

本年度、事務局において行った古文書調査、新聞記事調査、行政文書の整理及び保存、市政宅配講座等への職員の派遣等の活動について、報告した。

⑤ 東善寺阿弥陀如来立像について

仏像・仏画専門部会による代・東善寺における調査（平成二九年一月）により存在が明らかとなった、快慶様の阿弥陀如来立像に関する詳細調査（東京国立博物館への依頼による断層撮影及び快慶研究の専門家による調査）等について、事務局から報告した。

（協議事項）

次に掲げる事項について、協議を行った。

① 『熊谷市史調査報告書 仏像・仏画 1』について

平成三一（令和二）年度に刊行を予定している『熊谷市史調査報告書 仏像・仏画 1』について、内容、印刷及び製本等の概要（案）について事務局から説明した後、この案に関して協議が行われた。

その結果、事務局の案について特に異論等はなく、当該案のとおり進めていくことが了承された。

令和元年度第一回熊谷市史編さん委員会

日時 令和元年一月六日（水）午後二時開会  
場所 熊谷市立商工会館 二階三号室

【概要】

○委嘱状交付

新任期の初回の会議に当たり、新たに委嘱した当委員会委員（以下「新委員」という。）〔出席者一〇名〕に対し、教育長から委嘱状の交付を行った。

なお、新委員の方々は、次のとおり（敬称略）。

林 幸子 （市議会議員）

黒澤 三千夫 （市議会議員）

黛 千羽鶴 （文化財保護審議会委員）

飯塚 好 （知識経験を有する者）

北村 行遠 （知識経験を有する者）

栗岡 眞理子 （知識経験を有する者）

高橋 信之 （知識経験を有する者）

宮瀧 交二 （知識経験を有する者）

長谷美 成次 （市民団体の代表者）「欠席」

平井 加余子 （市民団体の代表者）

岡本 雅子 （公募による市民）

○委員長及び副委員長の選出

互選により、委員長に飯塚好委員が、副委員長に北村行遠委員が、それぞれ選出された。

○議事

(説明事項)

新任期の初回の会議に当たり、次に掲げる事項について、事務局から説明を行った。

①熊谷市史編さん委員会について(所掌事務、組織、委員の任期等)

②熊谷市史編さんについて(熊谷市史編集委員、熊谷市史編さん大綱、各専門部会等)

(報告事項)

次に掲げる事項について、報告を行った。

①各専門部会の活動状況について

本年度(令和元年度。以下、本項において同じ。)における各専門部会の調査等の活動の状況について、部会長等が当委員会の委員で、かつ、今回の会議に出席している部会等(近世、中世石造物担当)については当該部会長等から、それ以外の部会(中世、仏像・仏画)については事務局から、それぞれ報告した。

※ 近代及び現代の各専門部会については、今年度

この日までの時点においては活動実績なし。(ともに、新たな活動体制の構築に向けて調整中。)

②事務局の活動について

これまでの市史編さん室の活動(主に古文書調査に關すること)について、事務局から報告した。

(審議事項)

次に掲げる事項について、審議を行った。

①熊谷市史編さんについて(諮問)

今般、熊谷市教育委員会からなされた「熊谷市史編さんについて(「熊谷市史編さん大綱」の改定について)」の諮問に關し、事務局から、その内容(『熊谷市史』の本編で今後刊行を予定する巻のうち、近世に係る資料編(3～5)の刊行年度を、現行の予定年度から一年度ずつ次年度に移行すること等を内容とする年次計画の一部変更)について説明を行った。

審議の結果、諮問の内容について異議等はなく、着実な熊谷市史の刊行の観点から妥当と認められるため、諮問のとおり「熊谷市史編さん大綱」を改定することについて適当と認める旨の答申を行うことに決

した。

(文責 大野 幸人)

## II 専門部会活動報告

### 一 中世専門部会

中世専門部会長 高橋 修

当専門部会は、平成二四年度に『熊谷市史 資料編2 古代・中世』を、平成二九年度に『熊谷市史 通史編上 巻 原始・古代・中世』を刊行し、『熊谷市史』本編については、その編さんを終了した。前述のほかに、当専門部会が担当する調査報告書として、『中世の石造物』と『直実・実盛伝説』の刊行を予定しており、それぞれ以下の活動を行った。

#### 1 調査報告書『直実・実盛伝説』

当報告書は、中世の熊谷を代表する武士である熊谷直実と斎藤実盛について、「資料編2」で取り上げることができなかつた彼らの没後に作られた資料等について幅

広く収集し、掲載するものである。

令和元年度関係者会議

(令和元年六月一日 市立熊谷図書館)

部会長ほか関係者が集まり、方針等を検討した。

まずは、少人数で資料収集を行うこととした。熊谷直実については、部会長と熊谷図書館大井主幹が、斎藤実盛については事務局蛭間主査が担当する。ある程度資料が把握できた段階で、今後のスケジュール等を調整することとした。なお、当面は少規模で進め、刊行が近づいてきた段階で必要な分野の編集委員を委嘱する。

具体的な掲載資料とその方針は以下のとおりである。軍記物語は、「資料編2」で掲載できなかった諸本を収録する。寺社縁起はできるだけ収録し、「法然伝」については「資料編2」に掲載できなかった諸本を掲載する。地誌類についても、幅広く取り上げる。そのほか美術資料、芸能資料についても取り上げる。

#### 2 調査報告書『中世の石造物』

当報告書は、すでにそのための調査等を終了し、令和

二年度の刊行に向けて、各編集委員が解説等について執筆活動を進めているところである。また、図版や集成表についても、担当の編集委員が確認作業等を行っている。令和元年度中には原稿を揃え、令和二年度には編集作業に入る予定である。

平成三〇年度第三回 中世石造物担当者会議

(平成三一年三月一二日 市立熊谷図書館第二講座室)。

前回の会議までの審議事項を踏まえ、図版、集録表等の再確認を行った。多くの点で再審議、再検討が行われたが、最終的にはほぼフォーマット等が決定した。なお、細かい事項等は、確認作業を担当する編集委員に一任することとなった。

なお、考察部については、すでに決定した章目立てに従い、各担当が執筆に入ることとした。

なお、令和元年度中に、各編集委員による調査や、その分野に関する打ち合わせ等が行われた。

## 二 近世専門部会

近世専門部会長 北村 行遠

近世専門部会では、平成三一年（令和元年）の主な活動として、平成三〇年度の第三回部会、令和元年度の第一回・第二回部会をそれぞれ開催した。令和元年度は、あと一・二回ほど部会の開催を予定している。

あわせて、各部会の前には、資料編三巻の巻担当者による打ち合わせを行った。二月一四日、五月二七日、七月八日、八月二八日、十一月二七日の計五回である。

以下、部会の活動内容について略述する。

平成三〇年度第三回部会（平成三一年三月一九日）

1 委嘱状の交付 藤井明広氏の専門調査員委嘱

2 事務局報告 古文書調査の現状、史料保存機関の調査、今年度の刊行物などの報告があった。

3 資料編各巻担当者からの報告 妻沼地域（細野委員）・熊谷宿（石山委員）・熊谷在方（藤井委員）のそれぞれについて報告があった。資料編（妻沼地域）編纂のための筆耕に関する作業方法などとも

- に、資料編三巻の具体的な作業スケジュールを確認した。なお、史料の筆耕に際して、表記方法の統一基準などについても検討した。また、四月から再開する埼玉県立文書館での調査について確認された。
  - 資料編（熊谷宿）については、宿そのものの章節が少ないのではないかとの指摘がなされ、検討をしていくことにした。
  - 4 調査の報告・計画 必要な古文書調査は、遠隔地も含めて検討していくことが確認された。
  - 5 その他 事務局から近世専門部会を担当してきた栗原健一嘱託職員が三月末をもって退職し、仲泉剛嘱託職員が後任となると報告された。
- 令和元年度第一回部会（令和元年七月八日）
- 1 黙禱 会議に先立ち、六月二三日に逝去された故斉藤司専門調査員に対して黙禱が行われた。
  - 2 委嘱状の交付 栗原健一氏の専門調査員委嘱事務局報告 古文書調査の現状、今年度の刊行物などの報告があった。新たに受け入れられた古文書群に関する質問があった。
- 令和元年度第二回部会（令和元年一〇月二日）
- 1 事務局報告 古文書調査の現状、今年度の刊行物などの報告があった。
  - 2 刊行に向けての計画 事務局から担当委員ごとの筆耕作業状況について報告があった。筆耕に際して、史料表題の付け方などの凡例をまとめておく必要が
- 4 刊行に向けての計画 事務局より刊行スケジュールの変更について説明がなされた。近世編については、従前のスケジュールよりも一年度ずつ先送りにしたことの提案で、異議なく了承された。
  - 5 資料編各巻担当者からの報告 妻沼地域（細野委員）、熊谷宿（石山委員）について報告があった。なお、資料編（妻沼地域）の章の分担については、斉藤委員の担当であった箇所（第一章 領主支配と村、第二章 村の負担と運営）を新任の栗原委員へお願いしたいとの提案があり、了承された。また、各節ごとに史料写真を挿入する提案などが検討された。
  - 6 調査の報告・計画 事務局から熊谷町役場文書（熊谷市立熊谷図書館所蔵）の調査報告などがあった。

あり、巻担当者の打ち合わせで検討するようにとの要請がなされた。

## 3

資料編各巻担当者からの報告 妻沼地域（細野委員）、熊谷宿（石山委員）、熊谷在方（藤井委員）についてそれぞれ報告があった。また、吉田・松本両委員より資料編（妻沼地域）の人権関係文書について報告がなされた。長島家文書など埼玉県立文書館での調査の方法や、資料編の章節への入れ方などについて意見交換を行った。

## 4

調査の報告・計画 事務局から鯨井勘左衛門家文書（熊谷市立熊谷図書館保管）などの調査報告があり、今年度内に安中宿関係文書（群馬県安中市）を調査予定であるとの報告があった。

## 三 近代専門部会

近代専門部会長 老川 慶喜

## 1 『資料編8』の執筆・校正

平成三十一年三月刊行の『熊谷市史 資料編8 近代・現代3（妻沼地域編）』の執筆・校正等を行った。なお、近代専門部会は「第一部 近代」（三五～五五四頁）を担当した。各執筆者が三回校正を行った。

## 2 令和元年度第一回専門部会会議

（令和元年二月一日、熊谷市役所本庁舎）  
初めに、村田安穂部会長の退任の意向を受け、後任の部会長候補者の選出に関する協議を行った結果、重田正夫委員からの推薦、全出席委員の賛成により、老川慶喜委員が選出された。（この後、令和二年三月の熊谷市教育委員会において議決され、正式に同委員に部会長を委嘱することとなった。）

次に、『資料編6 熊谷地域編上』及び『資料編7 熊谷地域編下』の刊行に向け、以下の協議を行った。

## ① 刊行時期について

調査が必要な古文書が市内外に大量に残されており、刊行スケジュールの再検討が必要であることを確認した。今後、現代専門部会の意向も確認し、事務局と話し合いを続けることになった。次回会議において関連史料の調査状況を把握し、調査の進め方等を検討することになった。

#### ②『資料編6』の構成について

『資料編6』の掲載範囲を明治元年から昭和二〇年八月の太平洋戦争終戦までとすることにした。

#### ③部会の構成について

新たな委員の委嘱について検討した。候補者数名の推薦があり、次回会議までに諾否の意向を確認することになった。

### 四 現代専門部会

現代専門部会長代理 高橋 信之

『熊谷市史 資料編8 近代・現代3(妻沼地域編)』の執筆・校正等を行った。現代部会では、「第2部現代」

(五五九頁～八一七頁)を担当し、平成三二年三月の刊行に向けて各執筆者が三回校正した。

この本の刊行には十年余の年月をかけてきたが、平成二五年一二月には、部会発足当初から部会長を務められた黒須茂先生が逝去された。先生の御遺志を引き継ぎ、このたび資料編8を完成させることが出来た。この場を借りて、執筆者の各委員、協力を得た関係各位の方々や事務局に、厚く感謝を申し上げたい。

四月以降は、各委員が『資料編7 近代・現代2 熊谷地域編下』の準備を進めた。今後は『資料編7』及び『通史編下巻』の刊行に向けた協議等を行う。

### 五 仏像・仏画専門部会

仏像調査専門部会長 林 宏一

#### 1 仏像・仏画悉皆調査

平成二四年度に調査を開始し、令和元年度は八年目となる。本年は、昨年から引き続き、第一冊目の調査報告書の対象となる北部地域において、調査が未実施であつ



た神社や堂庵、仏像所蔵の個人宅等についての調査を中心にを行った。

調査内容は、写真撮影及び寸法や形状・材質等を記した調査カードの作成である。この一年間で三〇〇点弱の仏像・仏画等の調査を終えることができた。八年間の累計では、二五〇〇点超の調査を行ったことになる。

なお、調査前の各寺院との交渉は坂東隆秀特別調査員が、また、調査後の調査カードと写真の整理は西口由子専門調査員が行った。

また、新たな協力員として、上村駿介氏、黒崎夏央氏、徳泉さち氏、行方敬太郎氏、村上幸奈氏、村田光樹氏を委嘱した。

令和元年（平成三十一年）に実施した調査は以下のとおりである。

- |   |                 |    |                      |
|---|-----------------|----|----------------------|
| 1 | 妻沼宝篋堂（一月二一日）    | 6  | 小曾根観音堂（二月二六日）        |
| 2 | 弥藤吾新田公民館（二月二一日） | 7  | 今井智光庵（二月二六日）         |
| 3 | 秦公民館上入別館（二月二一日） | 8  | 今井浄業庵（二月二六日、三月一九日）   |
| 4 | 葛和田個人宅（二月二二日）   | 9  | 小曾根西光院（三月一九日）        |
| 5 | 日向長井神社（二月二二日）   | 10 | 四方寺個人宅（三月一九日）        |
|   |                 | 11 | 俵瀬伊奈利神社（四月二一日）       |
|   |                 | 12 | 下奈良利永寺（五月二〇日）        |
|   |                 | 13 | 永井太田雷電神社（五月二〇日）      |
|   |                 | 14 | 男沼神明神社（五月二〇日）        |
|   |                 | 15 | 妻沼白髪神社（五月二〇日）        |
|   |                 | 16 | 永井太田北間集会所（五月二〇日）     |
|   |                 | 17 | 上奈良豊布都神社（五月二〇日）      |
|   |                 | 18 | 佐谷田長福寺（六月二四日、七月三一日）  |
|   |                 | 19 | 石原真宗寺（七月三一日）         |
|   |                 | 20 | 佐谷田永福寺（九月三〇日）        |
|   |                 | 21 | 永井太田個人持不動堂（一〇月一五日）   |
|   |                 | 22 | 代個人持薬師堂（一〇月三〇日）      |
|   |                 | 23 | 妻沼聖天山貴惣門、仁王門（一〇月三〇日） |
|   |                 | 24 | 上中条川北神社（一一月一八日）      |
|   |                 | 25 | 平戸源宗寺（一一月一八日）        |

## 2 調査報告書『仏像・仏画1』の編集作業等

平成三〇年二月一三日、四月一七日、二一日、六月二三日、八月一五、一〇月一五、十二月二三日の七日間にわたり、妻沼中央公民館若しくは妻沼展示館において、部会長、原口雅樹専門調査員、西口由子専門調査員が、『調査報告書仏像・仏画1』の編集作業を行った。また、上記三人の編集委員が、報告書の執筆、校正作業等を行った。坂東特別調査員も一部担当した。

最後に、調査先寺社、自治会関係者、調査協力者等の多大なる御協力に対して、心よりお礼申し上げます。